



みそのだより

令和7年5月30日
学校だより6月号
板橋区立三園小学校
みどりの学びのエリア

合い言葉『生き生き 学びの三園小』

「三つの“か”」を大切に

校長 和田 幹夫

梅雨の走りを感じさせるような今日この頃です。皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、いよいよ明日5月31日(土)は、本校令和7年度運動会です。雨が心配ですが、降らないことをただ祈るばかりです。ただ、子どもたちは、実施・延期にかかわらず、きっと全力で演技・競技をしてくれると思います。その根拠は、これまでの練習の姿にあります。

運動会というと短距離走で何位だった、赤が優勝した、白が勝ったなどが思い浮かぶと思います。本番も大切ですが、私は、**そこに至るまでの「過程」**が何よりも尊く大切なものだと考えています。

1年生は小学校に入って初めての運動会。不安もある中で何事にも力いっぱい取り組んでできました。2年生は、華やかなバトンを振りながらリズムにのって踊る「よーい StaRt」、3年生はみんなの力と知恵を合わせて競う「お助け綱引き」、4年生は赤と青の旗が青空に美しくはためく「いざ最高の舞台へ!」、5年生は、みんなで取り組めること、チームワークを高めることを大切に競技「走れ! 特急三園号」、そして、6年生は最高学年としての力強さと意気込みを表現する「南中ソーラン」など、どの学年も昨年度よりもステップ・アップした新たな演技に挑戦してきました。応援団や高学年代表リレーの子どもたちも、休み時間や放課後に練習を重ねてきました。

しかし、どれも最初からうまくできたわけではありません。できないことがほとんどだったと思います。また、負けたことに腹を立ててしまう姿も見られました。しかし、決してそれであきらめることなく、みんなで力を合わせて根気強く練習を積み重ねてきました。それができたのは、「みんなで成功させるんだ!」という強い気持ちと、先生や友達、家族の皆さんの励ましや協力、アドバイスがあったからこそだと思います。

この3週間の練習を通して、体だけでなく心もたくましくなりました。また、クラス・学年などのまとまりも高まり、互いに支え合うやさしさも育ってきているのを感じています。

ぜひ、このような子供たちのがんばりや、成長にも目を向けながら、全力でがんばる子供たちにご声援をいただければ幸いに存じます。大勢の皆様のご来校をお待ちしています。

また、5月14日(水)・15日(木)には、一泊二日で、5年生とともに倉淵移動教室に行ってきました。(今年度から宿泊場所が高崎市倉淵町にある「はまゆう山荘」に変更となり、名称が変わりました)

一日目の出発式、私は子どもたちに「この二日間、『**かかわり**』と『**感謝**』、二つの“か”を大切にしましょう。」と話しました。自然とのかかわり、友だちとのかかわりを広げ、深めるとともに、移動教室を支えてくださる多くの方々、また友だちの支えに気づき、感謝の気持ちを持ち、それを言葉や行動で表してほしいと思ったからです。5年生は、この願いを、見事行動で表してくれました。たくさんの素敵な場面があったのですが、その中で特に印象に残っている場面が次の二つです。

まず一つは、「榛名山の登山」です。距離的に長くはないのですが、急な上りが延々と続く非常に厳しいコースです。少し歩くだけで汗が噴き出し、こまめに休憩や水分補給をしながら進みました。そんな中でも、くじける人は一人も出ませんでした。疲れがたまる中でも、「あともう少しだよ!」「がんばれ!」など励ましの声を掛け合いながら登り続けました。そして、一人もリタイアすることなく頂上まで登り切ることができました。

もう一つは、「食堂のテーブル」です。一日目夕食後、子どもたちが座っていたテーブルに行くと、出しっぱなしになった椅子がたくさんあり、テーブルの上にこぼしたものがたくさんありました。私は、声をかけて近くにいた5年生に手伝ってもらいきれいにしました。そのことは、担任の先生から班長会議で伝えてもらいました。しかし、二日目の朝食後、そのような乱れは一切ありませんでした。一人一人が、食事を作ってくださった方々に感謝しながら、次に使う人の気持ちを思いやって、きれいに片づけたのだと思います。心が温かくなりました。

これからも、様々な行事はもちろん、創立60周年の取組、日々の学校生活などにおいても「**過程**」「**かかわり**」「**感謝**」の三つの“か”を大切に取組んでいきます。今月もよろしく願いいたします。